数の位置と0からの距離を分ける

位置と絶対値

数直線では右にある数ほど大きくなります。

絶対値は0からの距離です。符号とは分けて考えます。

0は正の数でも負の数でもありません。

例：−10と−4を比べる

−10 < −4：−4の方が右にあります。

0からの距離は、それぞれ10と4です。

位置の大小と、距離の大小を区別しましょう。

カードを0の左右に並べる

講師が並べ、位置と距離の理由を尋ねます。

−8	−3	0
+3	+8	

数直線と理由を書き足す

ひく数を反対の数にし、累乗の範囲を読む

例：減法を加法に直す

$-5-(-9)=-5+9=4$

最初の−5は変えず、ひく数−9を反対の数にします。

$(-6)\times(-3)=18$：乗法の符号は加法と区別します。

かっこの有無を積で説明する

$-7^2=-(7\times7)=-49$

$(-7)^2=(-7)\times(-7)=49$

累乗がかかる範囲を、かっこで確かめます。

計算する順をカードで示す

$(-28)\div7\times(-2)=(-4)\times(-2)=8$

かっこの中	累乗
乗法· 除法（左から）	加法· 減法（左から）

途中式· 確認· 質問を書く

例と違う問題で、最初の考え方を確かめる

N1. −14と−6ではどちらが大きいか、数直線上の位置で説明してください。

解答· 理由を書く

N2. 絶対値が7である数をすべて挙げ、理由を書いてください。

解答· 理由を書く

N3. −8 − (−13)を加法に直してから計算し、変えた符号を説明してください。

解答· 理由を書く

N4. (−36)÷6×(−3)を計算してください。なぜその順かも書いてください。

解答· 理由を書く

N5. -8^2と$(-8)^2$を計算し、積の形でも表してください。

解答· 理由を書く

N6. 「9 − 4×(−3) = 5×(−3) = −15」の最初の誤りを直してください。

解答· 理由を書く